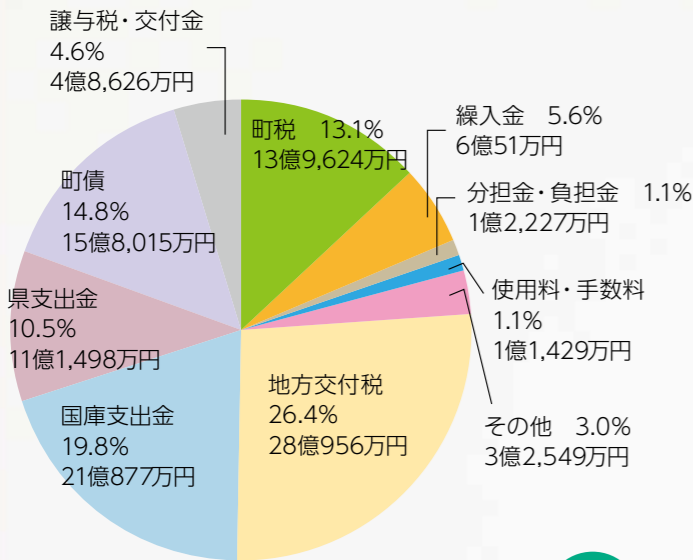


予算比較 (歳入予算)



歳入

自主財源である町税は、災害に伴う減免も落ち着くと見込み13億9,624万円と前年度より3,529万円増を見込み、熊本地震発生前年度である平成27年度と比較するとほぼ同額となっています。また、熊本地震に係る災害復旧事業費の償還が本年度から始まるため、償還額に対する交付税措置分の増額を見込み、地方交付税は、28億956万円と前年度より4,124万円の増額を見込みました。国庫支出金、県支出金、町債の減額の主な要因としては、熊本地震の災害復旧事業費の大幅な減額があげられます。

熊本地震からの復旧が進み、創造的復興の目玉事業として取り組んでいる御船インター東側への企業誘致関連事業予算においても、道路整備事業を初めとした多額の予算が必要となることを見込まれ、自主財源が予算額の23.9%である御船町は、地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない状況です。しかし、企業誘致関連事業を起爆剤として、歳入確保に努めていきます。

復興のシンボルである
企業誘致関連事業が計上
されているまるね!



令和元年度主な事業

- ・ 宅地耐震化事業 18億5,885万円
- ・ 御船インター東側への道路整備事業(企業誘致関連) 5億7,129万円
- ・ 木造仮設住宅活用事業 1億4,016万円
- ・ 地域防災拠点施設建設事業 6,576万円
- ・ 被災宅地復旧事業 6,000万円

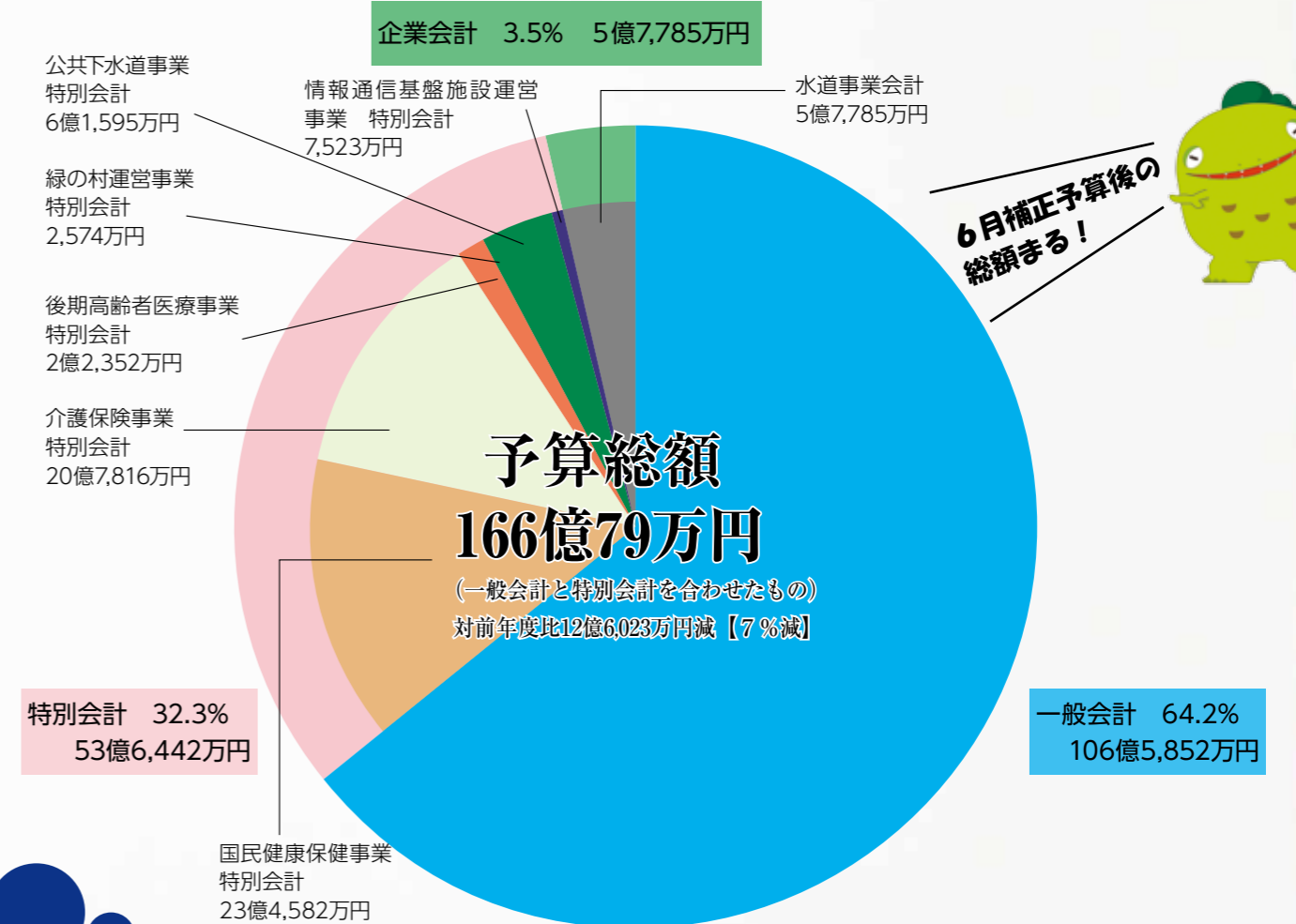
御船町のお財布

企画財政課財政係 ☎282-1263

用語説明

- ◎一般会計=町税などを財源に、福祉・教育・道路整備など町の基本的な行政サービスを行う会計
- ◎特別会計=国民健康保険税などの特定の収入があり、特定の目的を行う会計
- ◎企業会計=水道企業のように、事業から得た収益で運営する会計

熊本地震からの復興は、御船の恵まれた地域資源や歴史文化、また交通の要衝としてのメリットなど、本町の強みを最大限に活用するとともに、国・県との連携を図り、未来につなげていく必要があります。そこで、令和元年度予算は、熊本地震からの復旧・復興を最優先として、災害復旧事業及び「御船町震災復興計画」に掲げる事業を着実に推進していくため、創造的復興のシンボルとして位置付けている企業誘致関連事業といった、更なる御船町の発展につながる予算計上を行いました。



6月補正予算後の
総額まるね!



COLUMN ~コラム 予算の説明が7月になった理由

令和元年度当初予算は、4月に町長と町議会議員の改選期にあたるため、政策的な判断がしにくいことなどの理由により、新規事業や政策的経費は予算計上せずに編成しました。また、6月補正予算では、新町長の政策を反映させた新規事業や政策的経費を予算計上したため、令和元年度の予算の説明が7月となりました。

ちなみに、新規事業や政策的経費は予算計上せずに、継続事業や経常的経費のみで編成された予算のことを「骨格予算」、新町長の政策を反映させた新規事業や政策的経費を追加する補正予算のことを「肉付け予算」といいます。

6月から
本格始動まるね!



予算比較 (歳出予算)

- 議会費
- 総務費
- 商工費
- 土木費
- 公債費
- 諸支出金
- 民生費
- 衛生費
- 消防費
- 教育費
- 予備費
- 農林水産費
- 災害復旧費

